



Grand Slam Abu Dhabi 2017

マルハバン！コッルタマーム？

アナタマームジェッタン！

10月26～28日、UAEのアブダビにてグランドスラム・アブダビ2017が行われました。昨年と比べ、参加人数及び観客が少なく、ひっそりと開催されたようにも見受けられました。柔道がUAEにまだまだ浸透していないことを痛感した大会となりました。

私自身は、人生で初めてシニア世界大会のコーチボックスに座りました。UAEからの出場選手は2人。気合を入れて挑みましたが、2人とも初戦敗退でした。練習量が足りず2人とも力を出し切ることができませんでした。もう少し練習量を増やしたい気持ちがありますが、中々上手くいかないのがUAE柔道の現状。「練習に来る」と言っても予定の練習終了時間に「歯医者に行っていた」と言って練習には来ないことも。連絡なしに休むことは当たり前。少しずつ変えておりますが、選手としての意気込みが今一つ感じられない状態です。1人の選手は試合の2週間前に目のレーザー治療をしました。試合1

— 出来事 —

- 12月22日から福岡で行われます、サニックス旗福岡国際中学生柔道大会へ参加する予定です。
- 日本人学校での柔道授業も順調にしております！

今月のアラビア語

「ロガ アラビーヤ サーアバジェッタン」

意味：アラビア語はとても難しい。

شكرا

シユクラン日記

11月号

週間前にサングラスをかけて道場に練習に来たときはビックリ。話を聞くとレーザー治療をしたとのこと、考えられませんでした。UAEは選手が少ない為、簡単に試合へ出場できます。UAE柔道連盟もそれを許していました。私がUAEで活動を始めてから、彼らの出場試合がグッと減りました。何故なら、練習しない選手は試合には出さないと決めていたからです。

今回の大会は地元開催ということで、選手2人と何度かミーティングを行いました。私は、はっきりと「俺は2人をこの大会には出さない」と伝えました。しかし2人は真剣な顔をして、「頑張るから出してくれ」と言ってきたのです。私も、彼らの意気込みに心が折れエントリーすることにしました。しかし、練習を始めたのは試合の1か月前、一人の選手は週に2、3回の練習、もう一人は週に1回。練習と言っても、ウォーミングアップもせず、ペラペラと話しながら適当に打ち込みをし、3本ほど乱取りをして帰るくらいです。私の面白くない指導がいけないのでしょうか。

試合初日、二日目、彼らの試合はあっけなく終わりました。私自身、練習を十分にしていない彼らが怪我をしなかっただけで満足しておりました。

試合後に感じた 柔道の本質を教えることの難しさ

試合後、ネットニュースではUAE柔道とイスラエルとの関係で炎上していました。事の発端は、初日にイスラエル選手が優勝したにも関わらず国際柔道連盟(IJF: International Judo Federation)のオフィシャルソングが流れたことから始まりました。元々、IJFとイスラエル柔道連盟は、イスラエル選手がイスラム圏で試合ができるようにと、国の

名前を伏せIJFメンバーとして戦うことに合意の上で試合を行っていました。しかし今回、IJFメンバー(イスラエル選手)が優勝したためIJFのオフィシャルソングを流したところ、ネットで優勝したのに国家を流さなかったことに炎上、一時騒然となりました。更に大会2日目、UAE選手とイスラエル選手が試合後に握手をしなかったとネットニュースなどで報道されました。この2件に対して、UAE柔道連盟とIJFはイスラエル柔道連盟に対し、3者が笑顔で握手を交わし、和解を表明しました。

しかし、私自身一番残念だったことが1つありました。「握手をしなかった選手」それは私の生徒だったのです。私は自分自身に罪悪感が残りました。これまで、私は何を学んできたのか。柔道とは何か。他のスポーツにできて柔道でできるものは何か。私は、一番伝えたい「柔道」を選手に教えていなかったのです。私は、キリスト教でもなく、ムスリム教でもなく、ユダヤ教でもありません。理解することはできても分かり合うは不可能でしょう。私は彼らにとってただの外国人コーチです。

私が彼らに柔道の本質を伝えられなかったために、彼が題材になりネットニュースが炎上し、ネットでは彼のビデオが流れ、悪者になってしまったのです。柔道の本質が何か、まだ私にはわかりません。しかし、柔道というものは唯一無二の物だと思っています。

スポーツは難しいです。外国人の立場から言えば「握手くらいすれば良いのに」と思っていますが、彼らにとってはそんな簡単な問題ではない。私は決して握手をしなかった彼が悪いとは思っていません。元々、握手は最近やり始めたこと。柔道は「礼に始まり、礼に終わる」競技、握手は強制ではありません。しかし、彼の礼には敬う気

持ちがこもっていなかったのも事実。彼も「頭は下げた」と言っていました。彼には、「握手は強制ではない。しかし、柔道をやっている以上、柔道の本質を知らなくてはならない。皆から見られていることを忘れないでくれ」と伝えました。彼がどれくらい納得したか分かりませんが、将来必ず役に立つときが来ると信じています。

日本大使杯 2017

光本健次先生の柔道巡回指導

11月3日(金)、「第2回日本大使杯」が開催されました。昨年、念願の第1回が開催され、第1回修了後、選手からも次の日本大使杯に参加したいと強く要望もありましたので、今年は何としてでも「2回目実施」と挑みました。今年も、特別講師兼大会特別ゲストとして東海大学より光本健次先生をお招きさせていただきました。光本先生には柔道指導をお願いし、フジャイラとアブダビで柔道指導をしていただきました。大会直前、UAEのスケジュールが決まらない中、お招きできるかできないか危うい状況でもありました。しかし、東海大学より暖かいご理解があり、光本先生をお呼びすることができました。大変恐縮ながらご理解いただき誠に感謝申し上げます。



光本先生がUAEへ来られたことで、UAE柔道の発展に大きな進歩が見られました。光本先生がフジャイラにて指導中、あるスポーツクラブのマネー

ジャーと対談させていただきました。そのスポーツクラブは「フジャイラマーシャルアーツクラブ」Mouh先生(柔道教育ソリダリティー・コーチングセミナー2015のメンバー)の指導するクラブです。このクラブは、オーナーがシェイクモハメッド(ジャイラの王子様)ということもあり、シェイクより直接的に絶大なサポートを受けています。そのスポーツクラブのマネージャーと対談させていただきました。

UAEの女子柔道の可能性

そこで話されたのは大きく2点。「女子柔道の普及、そして東海大学とフジャイラマーシャルアーツの柔道国際交流」でした。フジャイラでは女子生徒が柔道に興味を示しており、柔道を学びたいという生徒が増えております。しかし、女性に男性が指導することができないため、女子の指導者を探しているとのことでした。UAEでは女性が表舞台で活躍することに大変意欲があります。徐々に広まりを見せておりますが、格闘技ではあまり大きな広まりを見せていません。唯一、「ブラジリアン柔術」が盛んではありますが、フジャイラでは、女性陣が柔道



に興味を持ち出しているそうです。日本好きが増えているので、その影響もあるかもしれません。

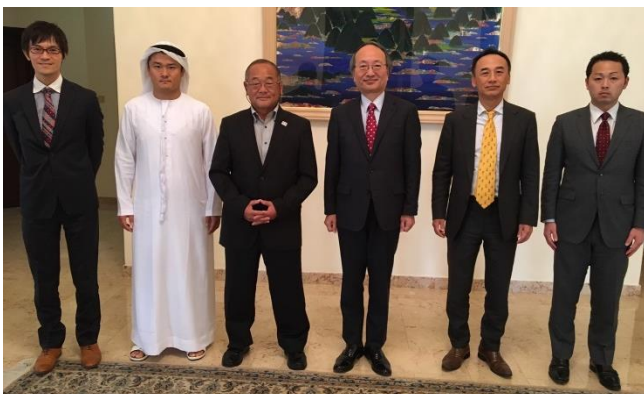
今回は、光本先生と一緒に来ていた森園さん(国際武道大学大学院)にフジャイラの女子学校をいくつか回っていただきました。訪問先の学校の校

長先生は「とても素晴らしい講習だった。是非、柔道の授業を学校に」と話されたそうです。今回の女子柔道指導は、既に王子の耳には入っている事でしょう。近い将来のための大きな一歩となったことでしょう。今後、女性選手が増え、第1回女子柔道大会を日本大使杯で実施できることを願っています。

UAE と東海大学の柔道交流

この対談のもう一つ話題として、「東海大学とフジエイラマーシャルアーツとの柔道交流」がありました。フジエイラマーシャルアーツのマネージャーからは、スポーツを通して東海大学に注目しており、特に柔道を通して交流を深めたいというものでした。選手は勿論の事、コーチの育成、そしてコーチの受け入れにも東海大学の協力を得たいようでした。将来的には、フジエイラからエミラテ生徒(UAEの生徒)を東海大学へ留学させるプログラムも作りたいと言っていました。

後日、Mouh 先生へ聞いたところ、以前からこの件は検討されており、光本先生のフジエイラ訪問を待ち望んでいたそうです。今後、話が進み、フジエイラから東海大学の学生が増えていくことを願っています。光本先生が UAE へ来られたことにより一気に話が本格的になってきたようにも思いました。



アブダビへ移動後、大使杯前に日本大使公邸へ食事に招いていただきました。美味しいお食事に、大変貴重なお話を聞くことができました。フジエイラでの件もお話しすることができまして、日本大使より、「ご協力させていただきます」とお言葉を頂戴致しました。いつも大変感謝しております。

その後行われた日本大使杯ですが、大会前日ギリギリまで実施出来るかわからない状態の中、日本大使館、そして JODCO さん協力の下、何とか実施することができました。

大会進行もスムーズに行われ、昨年とは違った盛り上がりを見せました。試合当日開会式後には、柔道のデモンストレーションも行い、大きな喝采を浴びました。昨年よりは参加人数が少なかったようにも感じられましたが、良い大会になったと思います。また来年に繋がるように私自身も頑張りたいと思っています。

ご協力いただきました皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。更に頑張っ参りますので、引き続き応援よろしくお願いたします。

(UAE 柔道連盟 原口直也)